

組立マンホールのⅠ類規格化について

1. 概要

このたび、日本下水道協会は平成17年6月1日からⅠ類規格『J S W A S A - 11 下水道鉄筋コンクリート製組立マンホール』について、各団体代表工場による形式検査を始め、9月1日からは各社の工場審査を始めた。ここで、全ての組立マンホールがⅠ類規格に移行されるわけではなく、一部の種類がⅡ類規格として残るため、下記にその違いを示す。

ここで、下表の『Cタイプ』とは『ボルト接合』の継手構造を表す。

種 別	Ⅰ 類	Ⅱ 類
規 格 番 号	J S W A S A - 11	—
名 称	下水道鉄筋コンクリート製組立マンホール	下水道用組立マンホール側塊
日本下水道協会 認定範囲	形 状	円 形
	構 造	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト
全国コネクトホール 工業会認定取得範囲	認 定 範 囲	0号・1号・2号・3号・4号・5号
	名 称	コネクトホールⅠ種 Cタイプ (IC1)
		コネクトホールⅠ種 Cタイプ (IC2)
		コネクトホールⅡ種 Cタイプ (IIC1)
コネクトホールⅡ種 Cタイプ (IIC2)		
形 状	円 形	楕 円 ・ 角 形
構 造	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト
認 定 範 囲	0号・1号・2号・3号・4号	楕円・角形特1号～特6号

2. 呼び方の比較

同じ部材でも、Ⅰ類規格の記号と全国コネクトホール工業会規格の記号は異なるので、対比例を下記に示す。ここで、IC1・IC2・IIC1・IIC2は、Ⅰ類規格での登録番号を表す。

部 材	呼び方	Ⅰ類規格の記号	全国コネクトホール工業会規格固有記号			
			IC1 Ⅰ種標準 (I-C)	IC2 Ⅰ種特厚 (I-CP)	IIC1 Ⅱ種標準 (II-C)	IIC2 Ⅱ種特厚 (II-CP)
調整リング	共 通	C M R 6 0	A-R			
斜 壁	0 号	C M 0 T	A0-N			
	1 号	C M 1 T	A1-N			
	2 号	C M 2 T	A2-N			
頂 版	0 号	C M 0 S B	A0-T			
	1 号	C M 1 S B	A1-T			
	2 号	C M 2 S B	A2-T			
床 版	2 号	C M 2 S B M	A2-C			
直 壁	0 号	C M 0 S	A0-S	*	*	*
	1 号	C M 1 S	A1-S	PA1-S	A1-S	PA1-S
	2 号	C M 2 S	A2-S	PA2-S	A2-S	PA2-S
管取付け壁	0 号	C M 0 B	A0-H	*	*	*
	1 号	C M 1 B	A1-H	PA1-H	A1-H	PA1-H
	2 号	C M 2 B	A2-H	PA2-H	A2-H	PA2-H
底 版	0 号	C M 0 P	A0-B	*	*	*
	1 号	C M 1 P	A1-B	PA1-B	A1-B	PA1-B
	2 号	C M 2 P	A2-B	PA2-B	A2-B	PA2-B

3. 性能の比較

コネクトホールは、4種類に分かれたので、使用場所・接合部の許容水圧・側方曲げ強さの比較を下記に示す。

コネクトホールの種別		使 用 場 所	接合部の許容水圧	側方曲げ強さ
Ⅰ 種 標 準	Ⅰ - C	5 m以下	0.05Mpa	Ⅱ種はⅠ種の約2倍
Ⅰ 種 特 厚	Ⅰ - CP	5 m以下で矢板の引き抜きを考慮する		
Ⅱ 種 標 準	Ⅱ - C	10 m以下	0.10Mpa	
Ⅱ 種 特 厚	Ⅱ - CP	10 m以下で矢板の引き抜きを考慮する		